

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今後新型コロナ収束にあわせて、地域との交流活動を再開していくに当たり、自治会や商店街の方々の運営推進会議への参加を促し、会議をより実のあるものにしていく必要がある。	自治会や商店街の方々と交流を深め、グループホームの運営推進会議に参加していただく。	入居者様と一緒に同行した職員も商店街の方々と積極的に交流を図って馴染みの関係を築くことにより、運営推進会議に参加し易い環境を整えていく。地域の行事やイベントに入居者が安心して参加できるよう働きかけていく。	12ヶ月
2	35	災害時に昼夜を問わず入居者がスムーズに避難できるよう、年2回の避難・消化訓練のみならず、日頃から機会を見付けて災害時の避難を想定した避難誘導訓練を行う必要がある。	様々な災害を想定し、入居者を安全に避難誘導できるようになる。	外出や外食のイベントや屋外のレクリエーション(日光浴や園芸作業、パターゴルフ等)の機会にミニ避難訓練として、入居者の玄関や門扉までの移動・集合を避難訓練に相当するものと想定し、災害を意識した行動が取れるようにする。	12ヶ月
3	33	看取りを支援できる体制になっているが、入居者が重度化した場合は近隣への特養への入所や病院への入院となることが多く、看取りまで支援する機会がほとんどない。勉強会の開催や特養から色々と情報をもらう必要がある。	近隣の特養と連携を取り、看取りについての知識や知見を参考にする機会を設ける。	近隣の特養の勉強会委員会に相談し、研修への参加または資料の提供を受ける。また法人の勉強会において、内部研修で終末期の介護や看護について取り上げるとともに、外部研修で人生会議に関するものへ積極的に参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。